

## 「受験申込書」記入上の注意事項

- (1) 受験申込書の記入にあたっては、**黒のボールペン**を使用し、**楷書で正確に記入**してください。
- (2) **受験申込書は2枚複写**となっていますが、**切り離さずに必ず2枚とも提出**してください。本人控えが必要な場合は、各自でコピーをとってください。
- (3) 誤って記入してしまった場合は、該当箇所に二重線(=)を引き、訂正印を押印のうえ、該当上部に正しく書き直してください。(複写式の2枚とも訂正印(認印可)を押印してください。)

項 目	注 意 事 項
受験者氏名	○氏名は、戸籍・住民票に記載の文字を使用し、正しく記入してください。 ○必ずフリガナを付し、自署または記名押印してください。
現住所	○ <b>住民票に記載されている住所を記入</b> してください。 <b>郵便番号、マンション名、部屋番号まで正確に記入</b> してください。 ○記載内容の確認等で、本会から連絡する場合があるため、 <b>日中連絡可能な電話番号を必ず記入</b> してください。
現在の勤務先名	○事業所名、営業所名等がある場合は、省略せずに記入してください。 ○申込時点で受験資格該当業務に従事していない場合は「現勤務先名」「現職種名」「現勤務先所在地」の欄に斜線を引いてください。
現勤務先所在地	○ <b>実際に勤務されている事業所等の所在地を記入</b> してください。(本部・本社所在地ではありません)
身体障害等による受験に際しての配慮の希望 (傷病者を含む)	○該当する数字に○を付してください。「 <b>1. 必要</b> 」に○を付した場合は、 <b>[内容]欄に障害等の内容及び配慮希望内容(例：視覚障害のため点字受験希望)を記入</b> してください。 その場合、後日「身体障害者等 受験特別措置申請書」及び医師の「診断・意見書」を提出していただきます。 (特別措置申請書の様式は、別途お送りします)
国家資格名及び実務経験コード	○別表1(P6)に記載の国家資格等から保有する資格の名称及び実務経験コード番号を記入してください。 ○ <b>資格登録年月日は国家資格等免許(登録)証の登録年月日を記入</b> してください。 <b>(合格年月日ではありません。)</b>
見込受験(免許証等を後日提出の場合)	○国家試験に合格しているが登録手続が完了していない場合、紛失や氏名変更等のため再発行手続中で、「免許証」「登録証」の写しを提出できない場合等は「見込受験」となります。 「見込受験」欄に○を付し、 <b>手続中であることを証明する書類を添付</b> してください。 <b>※その場合、令和2年10月23日(金)までに「免許証」「登録証」等の写しの提出が必要になり、期日までに確定した書類の提出がない場合、受験は無効</b> になります。
実務経験証明内容	○勤務先で証明された「実務経験証明書」の内容を、 <b>職歴の古い順に転記</b> してください。 <b>※受験資格該当業務に従事する実務経験期間及び年月、日数を証明</b> していただく必要があります。 受験資格に該当しない従事期間は必ず除外してください。 国家資格等保有者：別表1(P6)に定める <b>国家資格等登録日以降</b> の実務経験期間及び年月、日数を記載してください。 <b>※同一施設であっても異動・配置転換により職種(業務内容)が変わった場合は、職種(業務内容)ごとに経歴を記入</b> してください。 <b>※同一法人・会社が経営するものであっても、それぞれの事業所・職種ごとに記入</b> してください。 (実務経験証明書も事業所ごとに必要です。)
見込受験希望(実務経験内容に見込がある場合)	○実務経験の受験資格要件を試験日の前日までに充たす予定で受験申込を行う場合は、「見込受験」となりますので、「見込受験希望」欄に○を付してください。この場合、 <b>令和2年10月23日(金)までに確定した「実務経験証明書」の原本(コピー不可)を提出</b> してください。 期日までに書類の提出がない場合、 <b>受験は無効</b> になります。
受験用顔写真貼付欄	○受験申込6ヶ月以内の写真(縦4cm 横3cm・正面・脱帽・無背景)を、 <b>裏面に氏名及び生年月日を記載したうえで</b> 全面のり付けして貼り付け、撮影年月日を下に記入してください。 受験時に眼鏡を使用する場合は、必ずそれらを着用した写真を貼り付けてください。 <b>※スナップ写真や携帯電話で撮影した写真は使用しないでください。</b>
振込受付証明書貼り付け欄	○受験手数料振込後の「振込受付証明書(申込書用)」(原本)を貼付してください。